

## 第2章 感染症及び食中毒統計

### § 1 一類、二類、三類、四類及び五類感染症

医療技術の進歩により、多くの感染症が克服されてきた一方で、新たな感染症の出現や既知の感染症の再興により、感染症予防に関する施策の抜本的な見直しが必要となり、平成11年4月「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下「感染症法」という。)が「伝染病予防法」にかわり新たに施行された。

感染症法では、発生した場合の危険性等から全109疾病(症候群)について一類から五類までの5つの類型等に分け、それぞれの対応が決められている。

表45 年次別届出数(一類、二類、三類感染症及び新型インフルエンザ等感染症) 平成24年

	一類	二類	三類					新型インフルエンザ等感染症	総数
	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱	急性灰白髄炎、ジフテリア、SARS(結核は別集計)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス		総数
平成22年	-	-	-	2	33	1	-	-	36
23	-	-	-	5	26	-	-	-	31
24	-	-	-	3	23	3	-	-	29
川崎	-	-	-	-	6	1	-	-	7
幸	-	-	-	-	2	-	-	-	2
中原	-	-	-	1	5	2	-	-	8
高津	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮前	-	-	-	1	3	-	-	-	4
多摩	-	-	-	-	2	-	-	-	2
麻生	-	-	-	1	5	-	-	-	6

資料：健康安全研究所

表46 月別届出数(一類、二類、三類感染症及び新型インフルエンザ等感染症) 平成24年

	総数	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
細菌性赤痢	3	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-
腸チフス	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
腸管出血性大腸菌感染症	23	-	-	-	-	2	1	4	4	5	1	6	-

資料：健康安全研究所

表47 年齢階級別届出数(一類、二類、三類感染症及び新型インフルエンザ等感染症) 平成24年

	総数	0~4歳	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~
細菌性赤痢	3	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
腸チフス	3	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
腸管出血性大腸菌感染症	23	3	4	-	1	4	1	2	1	2	-	1	-	4

資料：健康安全研究所